



奉仕しよう みんなの 人生を豊かにするために

会報

2021 ▶ 2022
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長目標

歯車を回し続けよう

会長／高橋 理佳 幹事／武田 佳彦

プログラム

- 本日
「移動例会」
- 次週予定
「PETS報告会」 串橋エレクト

会員誕生日
小 原 隆

No. 2912
第19回 4月13日

出席報告

前
例
会

会員総数……………25名
出免会員……………4名
出免出席……………4名
基準会員出席……………21名
出席率……………100%

前
々
会

第17回 3月30日
欠席会員……………0名
内メイクアップ……………0名
修正出席率……………100%

例会／毎週水曜 12:15～13:15

📁 幹事報告 ……………

- 羽幌、砂川ロータリークラブより、4月例会案内を受領しました。

👥 委員会報告 ……………

次年度理事会 青山次年度幹事
すでに連絡は回しておりますが、4月8日に次年度の理事役員会が開催されます。出席義務者の皆さんはお忘れにならないようお願い致します。

👤 新会員紹介

谷口 善彦
昭和40年6月29日生まれ
〈勤務先〉
北海道電力ネットワーク(株)
留萌ネットワークセンター
〈役職〉所長
〈趣味〉月一ゴルフ・DIY



富良野工業高校卒／奥様：和江様

📧 ニコニコBOX ……………

- 谷口会員、入会おめでとうございます。これからよろしくお願ひします。 高橋会長
- 4月例会は全て産業会館で行います。間違えないようお願い致します。 武田幹事

第18回 4月6日(水) 天候/曇

- 春が待ちどしいです。 申橋エレクト
- 創立記念、渡邊委員長よろしくお願ひします。 燕副会長
- 本日は創立記念例会です。ロータリーのことを少し話します。 渡邊会員
- 誕生日のお祝ひありがとうございます。 西原会員
- 義母葬儀、ありがとうございました。 青山会員
- 本日、モデルナ3回目ワクチン接種してきました。 関野会員
- 会場設営のお手伝ひありがとうございます。 桜井SAA
- 谷口会員、御入会おめでとうございます。 小原会員
- 本日より留萌ロータリークラブの一員となりました。宜しくお願ひ致します。 谷口会員
- お久しぶりです。帰ってきました。辻本会員

前 回 448,000円
今 回 22,000円
累 計 470,000円



プログラム……………

「創立記念例会」

渡邊 親睦活動委員長

2ヶ月遅れの創立記念例会になってしまいましたが、本日は皆様にお土産としてカステラを用意致しました。創立61周年になりますが、会社に帰って職員と一緒に召し上がってください。本日は少し、クラブのことについてお話をさせていただきます。

留萌ロータリークラブは1961年、昭和36年2月1日に旭川西ロータリークラブをスポンサークラブとして、日本で416番目のクラブとして創立されました。北海道では35番目のクラブです。現在の会員数は25名ですので創立時より1名足りない状態です。對馬会員のお父さんはクラブのチャーターメンバーでありましたが、對馬家はそれ以来61年間クラブに会費を払い続けているという奇特なご家庭でございます。對馬

会員さんにおかれましては、リタイヤされる前にぜひ息子さんをロータリークラブに入会させていただきます。と思います。

61年前と言いますと、現在25名の会員の約半数13名は、いまだこの世にあらわれてはきていません。そう考えると、61年前というはずいぶん昔のことなのだと実感致します。61年間活動してきたロータリーですが、“ロータリーって何？”という疑問からロータリーの目的についてお話をさせていただきます。

原文は英語の文章ですが、皆さんが分からなかったら困りますので、日本語でお話をいたします。ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

このロータリーの目的は、活動計画書、それと毎月発行されているロータリーの友にも書かれております。よく読んで理解をしてください。

今回、第4の奉仕の理念で結ばれた～国際理解、親善、平和を推進すること、について少しお話を致します。今タイムリーな話としてウクライナの問題がありますが、このウクライナの情勢に関する国際ロータリーからの声明が出されました。声明文自体は長いので、ホームページなどで確認ください。ロータリー4月号のエバンストン便りにもこの声明が掲載されています。ぜひ一読ください。少し読みますと、ロータリーはウクライナにおける状況悪化と人命の喪失および人道的苦難が深刻化していること

を深く懸念しています。ウクライナに対する軍事行動が続けば、地域の荒廃を招くだけでなく、欧州と世界にも悲惨な結果が広がる恐れがあります。ロータリーは世界最大の人道支援団体の一つとして「平和」を世界的使命の礎としてきました。私達は国際社会と共に即座の停戦、ロシア軍の撤退および対話を通じた対立解決のための外交努力の再開を求めます。と言うものです。先ほど会長報告でもありましたが、ロータリーにおける寄付の受付については、マイロータリーで各自お願いしますとのことでしたが、ロータリー財団ではウクライナ地域での直接的人道支援の窓口を設置致しました。これは災害救援基金が主な窓口となっています。ウクライナは遠く離れた国ですので、被災者を受け入れるにしても大変ですが、日本でも出来ることはたくさんあると思います。ぜひ皆さん他人事とは思わず、ロータリアンとしてキチッと対応していただければと思います。以上です。

ません。会長エレクト研修セミナーや地区協議会などに出席。地区委員選考に際してガバナーエレクトに助言をすることになっています。地区大会、その他の地区会合に出席すると共に、他の会員の出席を要請するなどの任務となっています。私の場合は、ガバナー補佐に指名されて、本来であれば函館で年前にガバナー補佐研修セミナーがあるはずでしたが、2回も延期になり、飛行機とホテルのキャンセルに追われました。結局1月に入って札幌市にて開催されました。その後、会長エレクト研修セミナーへの参加と地区協議会への参加。そして函館で行われた地区大会への参加がありました。その後、次年度のガバナー補佐との顔合わせがあるのですが、そのままの状態、多分最後に顔合わせがあるのだと思います。

皆さんにも回ってくるかもしれないので、覚悟しておいてください。

~~~~~  
(第18回プログラムの続き)

ガバナー補佐というのは、ガバナーによって任命される地区役員ではありますが、R Iの役員ではありません。また、ガバナー経験者（パストガバナー）がこのガバナー補佐をやることは好ましく無いとされています。ガバナー補佐は留任は妨げないが、3年を超えて任に就くことはできません。任命は出来るだけ早い時期に（9月）行われることになっています。

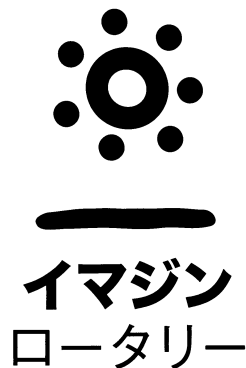
ガバナー補佐の各クラブに対しての任務は、担当年度の会長とクラブ目標について協議し、これを支援すること。公式訪問に関連して行われるクラブ協議会に出席する。少なくとも四半期に1回の公式訪問を行い、クラブ指導者と協議をすることになっています。公式訪問の日程及び計画作成に際し、クラブ指導者を支援します。クラブの奉仕プロジェクトに関する活動を見守る、となっております。

また、地区に対する任務としては、まず前年にガバナー補佐研修セミナーへの参加と地区で行われる各種セミナーには出席しなければなり

国際ロータリー 2022-23年度  
RI 会長テーマ「イマジンロータリー」

人の力とつながり  
2022-23年度RI 会長テーマのロゴ

「イマジン ロータリー」。これが、ジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー (RI) 会長エレクトが、2022年1月20日に発表した2022-23年度会長テーマです。ジョーンズ氏は、大きな夢を抱き、行動を起こすことをロータリーの会員に求めています。「私たちにはみんな、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」



このロゴは、オーストラリア先住民族・アボリジニの現代アート、デザイン、コミュニケーションを専門とするアーティストで、グラフィックデザイナーのリキ・サラム氏によってデザインされました。サラム氏は、メルボルンで開催される2023年ロータリー国際大会のロゴも手掛けており、二つのロゴを視覚的な共通言語で結び付けています。

**ロゴに込められた意味**

このロゴには、各所に深い意味が込められています。例えば、アボリジニの文化で「円」は互いにつながっていることを意味しており、「7つの点」は人をあらわすと同時に、ロータリーの七つの重点分野を表しています。丸と点を一緒にすると、航路を示す星、つまり私たちの道しるべになります。その下の太い線は、いわゆる「掘り出し棒」で、力仕事をするときに使うものです。行動を起こす人たちであるロータリーの会員にとって、物事を成し遂げるための道具を表しています。

**色について**

緑、紫、白の3色は、必ずしもアボリジニの文化とは関係がありません。ジョーンズRI 会長エレクトは、公式行事で服装を整える際、テーマジャケットではなく、これらの色(一つでも、三つ全てでも可能)を使うよう2022-23年度ガバナーに要請しています。「多様性、公平さ、インクルージョンを強調していくに当たり、私たち一人一人が着るもので自分を表現しながら、つながりを持てるようにしたかった」とジョーンズ氏は説明します。色の解釈は何通りかあります。例えば、紫は「ポリオ根絶」、緑は新たに加わった重点分野の「環境」、そして白は私たちの中核的使命である「平和」を表しています。また、この3色を合わせると、女性参政権運動「サフラジェット」の色になります。これは、ジョーンズ氏が初の女性RI 会長となることから、さりげなくその歴史に触れているのです。